

2021阿波おどり ～ニューノーマルモデル～

新型コロナウイルス感染症対策実施マニュアル

(第1版)

令和3年6月29日

徳島市にぎわい交流課

目 次

1. 本マニュアルについて	1
2. 感染疑い・発生時の連絡先	1
3. 感染症対策の基本的な考え方	1
4. 参考とするガイドライン	1
5. 熱中症予防と新型コロナウイルス感染症対策	2
6. 感染症対策の普及啓発	3
(1) 運営スタッフへの普及啓発	3
(2) 踊り手への普及啓発	3
(3) 観客への普及啓発	3
(4) 記者・カメラマン（報道機関）への普及啓発	3
7. 本事業における感染リスクの全体像	6
8. 想定される感染リスクとその対策	7
(1) 運営スタッフの感染リスクと対策	7
(2) 踊り手の感染リスクと対策	10
(3) 観客の感染リスクと対策	12
(4) 記者・カメラマン（報道機関）の感染リスクと対策	13
9. 健康管理・確認	14
(1) 運営スタッフの健康管理	14
(2) 踊り手の健康管理	14
(3) 観客の健康確認	14
(4) 記者・カメラマン（報道機関）の健康確認	14
10. 感染疑い・発生時の対応	15
(1) 運営スタッフ	15
(2) 踊り手	16
(3) 観客、記者・カメラマン（報道機関）	17
11. 実施マニュアル運用状況のチェック	19
各事業者における実施マニュアル運用状況のチェック	19
12. グループ健康管理アプリ「OND' U」の利用	19
13. 巻末資料	
健康管理チェックリスト【運営スタッフ・日次】	20
健康管理チェックリスト【踊り手・日次】	21
実施マニュアル運用チェックリスト【運営スタッフ・週次】	22
実施マニュアル運用チェックリスト【踊り手・週次】	23
実施マニュアル運用チェックリスト【踊り連・週次】	24

1. 本マニュアルについて

本マニュアルは、観客が安心して阿波おどりを観覧できるニューノーマルモデルを構築するとともに、踊り手及びスタッフの安全を確保するために徹底すべき事項をまとめたものです。令和2年11月に開催した「阿波おどりネクストモデル」の検証結果や知見を踏まえ、感染症対策マニュアルを作成しました。

皆さまに安心して阿波おどりにご参加いただけるよう、感染症予防対策にご協力をお願いいたします。

2. 感染疑い・発生時の連絡先

感染疑い・発生時の連絡先は次の通りです。

名称	緊急連絡先
徳島市	088-621-5232
徳島保健所	088-602-8950
徳島県感染症・疾病対策室の電話相談窓口	0120-109-410(24時間対応)

3. 感染症対策の基本的な考え方

たくさんの方が安心して徳島市の阿波おどりにお越しいただくためには、阿波おどりに関係する団体が一丸となって感染症対策に取り組んでいく必要があります。

各会場の規模や様態を十分に踏まえ、会場及びその周辺において、新型コロナウイルスの感染を防止するため、必要となる負担を考慮に入れながらも、最大限の対策を講じる必要があります。

本事業をきっかけとして、阿波おどり関係者間で感染予防に対する意識を合わせ、しっかりと取り組んでいくための体制を構築していきたいと思えます。

4. 参考とするガイドライン

発行者	名称	発行・更新日
公益財団法人日本スポーツ協会	スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン	令和2年5月14日 (令和3年2月15日改定)
緊急事態舞台芸術ネットワーク	舞台芸術公演における新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン	令和2年6月30日 (令和2年12月1日改定)

5. 熱中症予防と新型コロナウイルス感染症対策

感染症予防のためマスクを着用することで、体内に熱がこもりやすくなります。マスク内の湿度も上がるため、喉の渇きを感じづらくなり、脱水状態に気付かず、熱中症のリスクが高まります。そのため、熱中症対策を講じながら感染症を予防する必要があります。

感染症対策における熱中症予防ポイント

- 屋外において、周囲の人と十分な距離（目安として1 m以上）が確保できる場合は、一時的にマスクを外し休憩することも必要です。
- 少しでも体調に異変を感じたら、速やかに涼しい場所へ移動してください。
- 喉が渇いていなくても、こまめに水分補給をしましょう。大量に汗をかいた時は、塩分補給も忘れずにしましょう。
- 日頃から体温測定、健康チェックをして暑さに備えた体づくりをしましょう。
- 体調が悪いと感じた時は、無理をせず、自宅で静養するようにしましょう。

注) 変異株は感染力が高いことから、容易にマスクなしで会話をすると、数分でも感染リスクがあります。やむを得ずマスクを外す場合は、咳エチケットを徹底し、近距離（1 m以内）での会話は絶対にしないでください。

6. 感染症対策の普及啓発

(1) 運営スタッフへの普及啓発

- 本マニュアルは、運営するスタッフ全員に周知し、マニュアルの徹底を図ります。
- 新型コロナウイルスワクチンの接種を推奨します。

(2) 踊り手への普及啓発

- 出演連は、各阿波おどり団体の衛生管理担当者が中心となり、連長を通じて連員に対し感染症対策実施マニュアルの周知・徹底を図ります。
- 新型コロナウイルスワクチンの接種を推奨します。

(3) 観客への普及啓発

- 徳島市公式WEBサイトにて、阿波おどり観覧時の注意事項をはじめとした感染症対策に関する情報を発信します。
- 新型コロナウイルスワクチンの接種を推奨します。

(4) 記者・カメラマン（報道機関）への普及啓発

- 本イベントの取材に関する「取材申込要領」を作成し、取材時における感染症対策の徹底などに同意した者のみ取材を許可するものとします。
- 新型コロナウイルスワクチンの接種を推奨します。



感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に ・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう

1 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

3 指先・爪の間を念入りこすります。

5 親指と手のひらをねじり洗います。

2 手の甲をのぼすようにこすります。

4 指の間を洗います。

6 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

マスクがない時



マスクを着用する (口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

X



何もしずに咳やくしゃみをする

正しいマスクの着用

1



鼻と口の両方を確実に覆う

2



ゴムひもを耳にかけ

3



隙間がないよう鼻まで覆う

X



咳やくしゃみを手でおさえる



首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

■ 詳しい情報はこちら

厚労省

検索



ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内でご注意いただきたいこと ～8つのポイント～

(一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変) 令和2年3月1日版

部屋を分けましょう

- ◆ **個室にしましょう。** 食事や寝るときも別室としてください。
 - ・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお勧めします。
 - ・寝るときは頭の位置を互い違いにしましょう。
- ◆ **ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。**
トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

- ◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

マスクをつけましょう

- ◆ **使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。**
- ◆ **マスクの表面には触れないようにしてください。** マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。
- ◆ **マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。** (アルコール手指消毒剤でも可)

※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。
※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

こまめに手を洗いましょう

- ◆ **こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。** 洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

裏面へ

換気をしましょう

- ◆ **定期的に換気してください。** 共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

手で触れる共有部分を消毒しましょう

- ◆ **共用部分 (ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など) は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きしましょう。**
 - ・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
 - ・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください (目安となる濃度は0.05%です (製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。))
- ◆ **トイレや洗面所は、通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒しましょう。**
 - ・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
 - ・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。
- ◆ **洗浄前のものを共用しないようにしてください。**
 - ・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

- ◆ **体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。**
 - ・糞便からウイルスが検出されることがあります。

ゴミは密閉して捨てましょう

- ◆ **鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。** その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- **ご本人は外出を避けて下さい。**
- **ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。**

< 感染力の強い新型コロナウイルスにご注意! >

【飲食前・トイレ後】

- 30秒以上の流水（石鹼使用）による手洗いの実施
- アルコール(60%以上)消毒液を使用した手指消毒

【休憩時】

- やむを得ずマスクを外す場合は会話禁止
- こまめな水分補給（熱中症対策）

【飲食時】

- “黙食・黙飲”の徹底

7. 本事業における感染リスクの全体像

本事業において感染リスクが想定される主体は、「運営スタッフ」「踊り手」「観客」「記者・カメラマン（報道機関）」の4者です。

主体	事業者	感染リスクのある場面
運営スタッフ		<p>① 開催前及び開催後の作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 通勤時の交通機関の車内 ○ チケット購入者など来客者との接触 ○ 事務所内共用備品等の使用 ○ 関係団体との打ち合わせ時の会話 ○ 休憩・食事時のマスクを外した会話 ○ その他日常生活（旅行、家族など） <p>② 開催日当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 控室での三密発生 ○ チケットブースでの観客誘導時 ○ 取材撮影を行うカメラマンとの接触感染 ○ 踊り手を入場口に誘導する際の飛沫感染 ○ 観客を退場口に誘導する際の飛沫感染 ○ マスクを外して昼食を取る際の飛沫感染 ○ 不特定多数の物が使用した場所への接触 ○ 会場内に残されたゴミへの接触 ○ 終了後のマスクを外した会話
踊り手	<ul style="list-style-type: none"> ○ 阿波おどり振興協会 ○ 徳島県阿波踊り協会 ○ その他の踊り連 	<p>① 練習時</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 練習会場への踊り手の密集 ○ 換気が悪い屋内の場合はエアロゾル感染リスク ○ 隣で踊る踊り手からの飛沫感染リスク ○ 使用した物品や場所へのウイルス残存 ○ 練習後のマスクを外した会話 <p>② 開催日当日</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 控室での三密発生 ○ 入場口に集合するまでの移動 ○ 入場口への踊り手の密集 ○ カメラマンに囲まれることによる飛沫感染 ○ 観客席からの歓声による飛沫感染 ○ 会場内での踊り手同士の密集 ○ 退場口への踊り手の密集 ○ マスクを外して昼食を取る際の飛沫感染 ○ 鳴り物や荷物を片付ける際の接触感染リスク ○ 終了後のマスクを外した会話
観客		<ul style="list-style-type: none"> ○ チケットブースでの運営スタッフとの接触 ○ チケットブースでの他の観客との接触 ○ 入場待機中の踊り手との接触 ○ 隣の観客の会話や歓声 ○ 出口への観客の密集
記者・カメラマン（報道機関）		<ul style="list-style-type: none"> ○ 入場口での運営スタッフとの接触、飛沫感染 ○ 入場待機中の踊り手との飛沫感染 ○ 入口での観客からの飛沫感染 ○ 隣の記者と会話をする事による飛沫感染 ○ 観客と記者が出口に密集することでの飛沫感染

8. 想定される感染リスクとその対策

(1) 運営スタッフの感染リスクと対策

主催者（徳島市）・施設管理者・企画運営事業者・警備事業者・アナウンス事業者・看護事業者・清掃事業者（参加事業者）

① 開催前及び開催後の作業

場面	想定リスク	感染症対策
通勤時	通勤に公共交通機関を利用した際の接触、飛沫感染リスク	車内ではマスクを着用して会話を控えるとともに、執務室に入る際に手洗い又は手指消毒を行う。
執務時間中	チケット購入者など来客者との接触、飛沫感染リスク	執務時間中はスタッフ全員がマスクを着用し、飛沫感染を防止するとともに、接客後は手指のアルコール消毒を行う。
		体調不良のスタッフには早めの休暇取得を促す。
		雨天等、窓を常に開けることができない場合は、30分おきに換気を行う。
	パソコンやファックス、コピー機など頻繁に触れる共有備品からの接触感染リスク	共有備品は定期的に清掃・消毒を行う。
打ち合わせ時	開催に向けて関係事業者や踊り団体との打合せを重ねる際の接触、飛沫感染リスク	打ち合わせの際は参加者に手指消毒、検温、マスク着用の徹底を依頼する。
		対面の必要がない場合はオンラインも活用して打ち合わせを行う。
		座席の間隔を空けるか、難しい場合は打ち合わせテーブルにパーテーションを設置するなど飛沫防止対策を行う。
		打ち合わせ後は使用したテーブルなどをふき取り消毒するとともに、手洗い又は手指消毒を行う。
昼食・休憩時	マスクを外して昼食を取る際の飛沫感染リスク	食事前に手洗い（30秒以上の流水・石鹸使用）又は手指消毒（60%以上のアルコール）を行い、休憩時もスタッフ同士の距離を1m以上空ける。

場面	想定リスク	感染症対策
昼食・休憩時	マスクを外して昼食を取る際の飛沫感染リスク	飲食中は黙食とし、マスクを外している間は近距離（1m以内）での会話をしないようにし、咳エチケットを徹底する。
		複数名で食事をする場合は対面ではなく、横並びで座るようにする。
		休憩室の窓を常に2方向10cm程度開けて、外気が入るようにする。
その他の日常生活	休日の観光旅行や飲食店への外出、自宅での家族との会話などによる接触、飛沫感染リスク	その他の日常生活においても、人が密集する場所でのマスク着用と帰宅後の手洗いを徹底する。
		休日に旅行に出かける際は、訪れる店舗等の感染症対策の状況に応じて適宜自主的な対策を取る（消毒用シートなどを持参し、消毒が不足している場合は自分で消毒する等）。
		現金での支払いをできるだけ避け、カードや電子決済を活用するほか、店舗を出る時や帰宅時には手洗いを徹底する。
	家族が感染した場合の家族内感染リスク	スタッフから家族に対して感染症対策を説明し、スタッフと同程度の対策の協力を依頼する。
		家族が感染または感染を疑わせる症状がある場合は、出勤をせず自宅で待機または在宅で勤務する。
		家族も含め、スマートフォンに接触確認アプリ「COCA」をダウンロードしておく。

② 開催日当日

※ 使用するマスクはしっかり鼻やあご周りを覆い、サイズの合った不織布マスクを推奨。

場面	想定リスク	感染症対策
集合・準備時	控室で三密が発生することによる飛沫、接触感染リスク	換気の良い広い控室を確保し、すべてのスタッフについて入室前の検温と手指消毒を徹底する。
観客入場時	チケットブースに観客を誘導する際の飛沫感染リスク	観客整理に当たるスタッフ全員がマスクを着用する。
		入場口に感染症対策を呼び掛ける看板を設置し、観客側にも注意喚起を行う。 デジタルチケットの導入によりチケットの半券が残らないようにする。

場面	想定リスク	感染症対策
観客入場時	入場口の取材撮影を行うカメラマンとの接触感染リスク	撮影エリアを限定し、スタッフや観客とカメラマンが接触しないようにするとともに、踊り手が整列を開始する15分前には自席へ戻るよう誘導する。
公演時間中	踊り手を入場口に誘導する際の飛沫感染リスク	入場待機中は踊り手にマスクを着用するよう促す。
		踊り手の誘導スタッフ全員がマスクを着用する。
観客退場時	観客を退場口に誘導する際の飛沫感染リスク	観客が退場口に密集しないよう前列から順番に退場を促し、退場口も入口側と出口側の2方向に分散する。
昼食・休憩時	マスクを外して昼食を取る際の飛沫感染リスク	食事前に手洗い（30秒以上の流水・石鹸使用）又は手指消毒（60%以上のアルコール）を行い、休憩時もスタッフ同士の距離を1m以上空ける。
		飲食中は黙食とし、マスクを外している間は近距離（1m以内）での会話をしないようにし、咳エチケットを徹底する。
		複数名で食事をする場合は対面ではなく、横並びで座るようにする。
		休憩室の窓を常に2方向10cm程度開けて、外気が入るようにする。
撤収・片付け時	ベンチシートやトイレなど不特定多数の物が使用した場所に触れた際の接触感染リスク	観客入替時にベンチシートはすべてふき取り清掃・消毒を実施するとともに、トイレは少なくとも30分に1回、清掃・消毒を行う。トイレ前に消毒を設ける。
		片付け時はすべてのスタッフがマスクを着用し、使用済の手袋等がある場合は使い回さずその都度廃棄する。
	会場内に残されたゴミを片付ける際の接触感染リスク	会場にゴミ箱は設置せず、ゴミは観客自ら持ち帰ることとする。投棄されたゴミを収集する場合はマスクを着用し、作業時に手袋を使用した際は廃棄する。
	終了後にマスクを外して会話をすることによる飛沫感染リスク	マスクは解散まで着用し、終了後に手洗い・手指消毒を徹底的に行う。

(2) 踊り手の感染リスクと対策

阿波おどり振興協会・徳島県阿波踊り協会・踊り連（参加事業者）

① 練習時

場面	想定リスク	感染症対策
練習前	練習会場に踊り手が密集することによる接触、飛沫感染リスク	練習への参加者全員に手指消毒、検温（「OND' U」アプリによる体調管理）、マスク着用を徹底させる。
		発熱症状や倦怠感があるなど、体調がすぐれない場合は練習への参加を見送るよう指導する。
		更衣室やトイレなど不特定多数の者が使用する場所は消毒をしてから使用する。
		自分で出したゴミや飲み切れなかった飲料物などはゴミ箱に廃棄せず、自ら持ち帰る。
		練習参加者が使用する場所や床は練習前に清掃・消毒を行ってから使用する。
	換気が悪い屋内で練習する場合はエアロゾル感染リスク	適切な身体的距離を保てるよう、特に屋内については十分な広さの練習会場を使用する。
		練習前には窓を全開にし、十分換気を行った上で練習を開始する。
練習中	隣で踊る踊り手からの飛沫感染リスク	踊り手と踊り手の間隔を可能な限り各自2m（最低1m）の距離を開けて練習する。
		かけ声はできる限り控えることとし、出す場合は踊り手同士が対面とならないようにする。
		一定時間で練習を区切り、練習の合間に窓を開けて換気を行うとともに、床面などの清掃を行う。
		練習中も可能な者はマスクを着用する。ただし、熱中症には注意すること。
		指導者は常時マスクを着用し、指導時やミーティング時にはマイクを利用するなど、近距離での発声を抑制する。
練習後	使用した物品や場所へのウイルス残存による接触感染リスク	会場の床面や共用スペース（トイレなど）の清掃を行った上で退出する。
	練習後にマスクを外して会話をすることによる飛沫感染リスク	練習後も参加者全員がマスクの着用を徹底し、ミーティングは密を避けて短時間で終わらせる。

② 開催日当日

※ 使用するマスクはしっかり鼻やあご周りを覆い、サイズの合った不織布マスクを推奨。

場面	想定リスク	感染症対策
集合・準備時	控室で三密が発生することによる接触、飛沫感染リスク	控室を利用する場合は三密を避け、検温（「OND'U」アプリによる体温管理）と手指消毒を徹底する。
		体調不良の場合は、当日であっても出演を見送る。
		化粧をしている場合を除いて、着替え中も全員がマスクを着用し、飛沫感染を防止する。
		可能な者は自宅で衣装などの準備を行い、控室の利用を控えるようにする。
移動時	入場口に集合するまでの移動などに伴う接触、飛沫感染リスク	移動時もマスクを着用し、交通機関を利用する場合は間を空けて座るなど、適切な距離を保つ。
		入場口前に踊り手専用の待機スペースを確保し、入場口に整列するまでの間も踊り手同士の適切な距離が保てるようにする。
踊り手入場時	入場口に踊り手が密集することによる飛沫感染リスク	入場待機中はすべての踊り手がマスクを着用し、会話は極力控える。
		入場口の地面に1m間隔でマーカーを設置し、適切な身体的距離を確保する。
	入場口でカメラマンに囲まれることによる飛沫感染リスク	記者席を会場内に設置し、自席から撮影を行ってもらうことで、会場内での踊り手に近づいての取材や撮影などは禁止する。
公演時間中	観客席からの歓声による飛沫感染リスク	すべての観客にマスクの着用徹底を促し、大声での歓声は控えるよう注意喚起を行う。
	踊り手同士が密集して踊ることによる飛沫感染リスク	踊り手と踊り手の間は可能な限り各自2m（最低1m）の間隔を取ることとし、踊り手同士が向かい合うようなパフォーマンスは行わない。
		会場内でのかけ声は、できる限り控えることとし、出す場合は踊り手同士、または踊り手と観客が対面とならないようにする。
踊り手退場時	退場口に踊り手が密集することによる飛沫感染リスク	退場口には記者席などを設けず、間口を広く確保する。

場面	想定リスク	感染症対策
昼食・休憩時	マスクを外して昼食を取る際の飛沫感染リスク	食事前に手洗い（30秒以上の流水・石鹸使用）又は手指消毒（60%以上のアルコール）を行い、休憩時も踊り手同士の距離を1m以上空ける。
		飲食中は黙食とし、マスクを外している間は近距離（1m以内）での会話をしないようにし、咳エチケットを徹底する。
		複数名で食事をする場合は対面ではなく、横並びで座るようにする。
		休憩室の窓を常に2方向10cm程度開けて、外気が入るようにする。
撤収・片付け時	鳴り物や荷物を片付ける際の接触感染リスク	使用済の鳴り物は消毒液で拭き掃除を行った上で片付ける。
		ごみは各自で持ち帰り、控室に放置しない。
	終了後にマスクを外して会話をすることによる飛沫感染リスク	片付け・撤収時もマスクを着用し、着替えが完了した者から速やかに控室を退室する。 懇親会や打ち上げ等の開催を控える。

(3) 観客の感染リスクと対策

場面	想定リスク	感染症対策
観客入場時	チケットブースに並んだ際の運営スタッフとの接触、飛沫感染リスク	チケットブースに配置されたすべてのスタッフは、マスクを着用する。
		スタッフが近づかなくても検温を行える自動検温器を設置する。
	入場待機中の踊り手と観客が密集することによる飛沫感染リスク	踊り手と観客が密集しないよう、待機場所を明確にエリア分けする。
	チケットブースに並んだ際の他の観客からの飛沫感染リスク	マスクの着用を徹底する。待機列の地面に1m間隔でマーカーを設置し、適切な観客間の距離を保つよう注意喚起する。
公演時間中	隣の観客が会話したり、歓声を贈ったりすることによる飛沫感染リスク	客席は、左右の客席を1席分空け、前後の観客も重なり合わないよう配置する。 会場内での飲酒・飲食は禁止とする。（熱中症予防のための水分補給は可。）
観客退場時	観客が出口に詰めかけて密集することによる飛沫感染リスク	観客が1か所に集中しないよう入口側と出口側の両方から分散退場を促す。

(4) 記者・カメラマン（報道機関）の感染リスクと対策

※ 使用するマスクはしっかり鼻やあご周りを覆い、サイズの合った不織布マスクを推奨。

場面	想定リスク	感染症対策
入場時	入場口に並んだ際の運営スタッフとの接触、飛沫感染リスク	入場口に配置されたすべてのスタッフは、マスクを着用する。
		スタッフが近づかなくても検温を行える自動検温器を設置する。
	入場待機中の踊り手と接近することによる飛沫感染リスク	踊り手が入場・整列した後は自席からのみの撮影に限定し、踊り手に接近しての撮影は禁止とする。
	入場口に並んだ際の他の観客からの飛沫感染リスク	記者・カメラマンの受付時間は開場前とし、観客が整列する前に検温、体調チェックなどを行って先に入場させる。
公演時間中	隣の記者と会話することによる飛沫感染リスク	すべての記者・カメラマンに対して、マスクの着用を要請する。
		記者と記者の座席間は最低1席、可能であれば3席の空席を確保する。
退場時	観客と記者が出口に詰めかけて密集することによる飛沫感染リスク	観客の退場がすべて完了してから記者・カメラマンを退場させるようにする。観客退場の妨げとならないよう、観客退場時において観客への取材は行わないようにする。

※ 参加いただくにあたり、本マニュアルをご確認いただき、遵守するようお願いいたします。遵守いただけない場合は、今後の取材をお断りする場合がありますのでご注意ください。その他、主催者の指示には必ず従ってください。

9. 健康管理・確認

(1) 運営スタッフの健康管理

- すべての運営スタッフは、開催2週間前、開催日及び開催後2週間は毎朝決まった時間に検温をし、健康管理アプリ「OND' U」への入力を行います。
- すべての運営スタッフは、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」を日常的に持ち歩くスマートフォンにインストールします。（※スマートフォン非保有者除く）
- 執務室内での感染拡大を防ぐため、執務中はマスクの着用を全員が徹底し、執務室から出入りする場合は手洗い、またはアルコールによる手指消毒を行います。

(2) 踊り手の健康管理

- すべての踊り手は、開催2週間前、開催日及び開催後2週間は毎朝決まった時間に検温をし、健康管理アプリ「OND' U」への入力を行います。
- すべての踊り手は、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」を日常的に持ち歩くスマートフォンにインストールします。（※スマートフォン非保有者を除く）
- 練習中の感染拡大を防ぐため、練習の行き帰りを含めてマスクの着用を全員が徹底し、練習後は手洗い、またはアルコールによる手指消毒を行います。

(3) 観客の健康確認

- すべての観客について入場前に検温を行うとともに、デジタルチケットを導入することにより、チケットをもぎる際に当日の体調や濃厚接触の有無などの確認事項に該当しない旨のチェックが行える仕組みを構築します。
- すべての観客に対して、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」を日常的に持ち歩くスマートフォンにインストールするよう推奨します。（※スマートフォン非保有者を除く）
- 施設を利用する観客には「とくしまコロナお知らせシステム」の活用を推奨します。
- 感染者が発生した場合に備え、チケット購入時に観客全員の連絡先を取得します。

(4) 記者・カメラマン（報道機関）の健康確認

- すべての記者・カメラマンについて入場前に検温を行うとともに、当日の体調や濃厚接触の有無などの確認事項に該当しない旨のチェックを行います。
- すべての記者・カメラマンに対して、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」を日常的に持ち歩くスマートフォンにインストールするよう推奨します（※スマートフォン非保有者を除く）。また、健康管理アプリ「OND' U」利用による体調管理を推奨します。
- 感染者が発生した場合に備え、取材申込受付時に記者・カメラマン全員の連絡先を取得します。

10. 感染疑い・発生時の対応

感染者発生時に備え、観客を除くすべての参加事業者は衛生管理担当者を定め、市に報告しておくこと。

(1) 運営スタッフ

① 感染疑い時の対応

- すべての運営スタッフは、出勤前あるいは勤務中に次の条件に該当した場合、衛生管理担当者に連絡した上で原則自宅待機し、衛生管理担当者の指示を仰ぐものとします。

- ・ 発熱がある場合（目安は平熱+1℃以上。個人により平熱が異なるため37.0℃未満でも発熱にあたる場合がある。）
- ・ 咳、のどの痛みなど風邪症状がみられる場合
- ・ 味覚や嗅覚に異常（味がわからない等）、強いけん怠感など、新型コロナウイルス感染症の特徴となる症状がみられる場合
- ・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」において、感染者との接触が通知された場合

- 衛生管理担当者は当該スタッフの様子を確認しながら、状況に応じて保健所または帰国者・濃厚接触者相談センター等へ連絡させるようにします。
- 衛生管理担当者は状況の詳細を把握し、主催者（徳島市）に報告します。

② 感染発生時の対応

- 運営スタッフの感染が確認された場合、保健所等の指示に従って対応します。
- 保健所等の濃厚接触者に関する調査への協力のため、衛生管理担当者は、感染したスタッフと接触した可能性のあるスタッフをできる限り調べ、リストを作成します。
リストアップの対象は、感染したスタッフの発症日から2日前以降に当該スタッフと濃厚接触（1m以内の距離でマスク等の感染予防策が無く、15分以上接触があった場合）した人としてします。
- 衛生管理担当者は、個人情報の取扱いに留意しながら、スタッフに感染者が発生した旨を共有します。

(2) 踊り手

① 感染疑い時の対応

- すべての踊り手は、練習日あるいは本番当日に次の条件に該当した場合、衛生管理担当者に連絡した上で原則自宅待機し、衛生管理担当者の指示を仰ぐものとします。

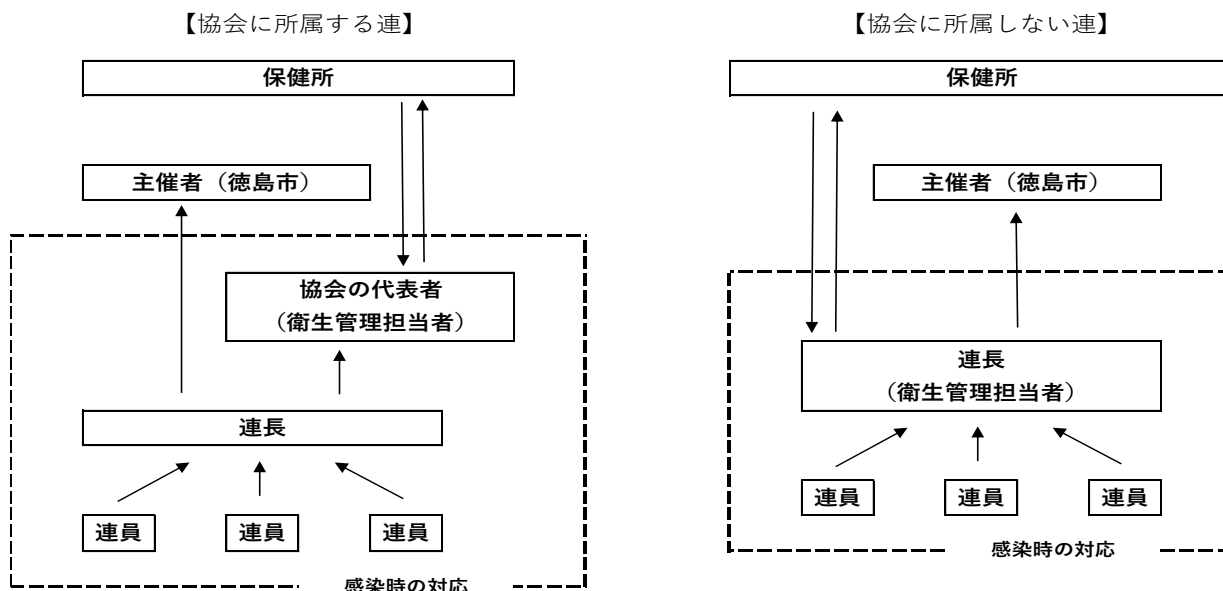
- ・ 発熱がある場合（目安は平熱+1℃以上。個人により平熱が異なるため37.0℃未満でも発熱にあたる場合がある。）
- ・ 咳、のどの痛みなど風邪症状がみられる場合
- ・ 味覚や嗅覚に異常（味がわからない等）、強いけん怠感など、新型コロナウイルス感染症の特徴となる症状がみられる場合
- ・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」において、感染者との接触が通知された場合

- 衛生管理担当者は当該踊り手の様子を確認しながら、状況に応じて保健所または帰国者・濃厚接触者相談センター等へ連絡させるようにします。
- 衛生管理担当者は状況の詳細を把握し、保健所に報告します。

② 感染発生時の対応

- 踊り手の感染が確認された場合、保健所等の指示に従って対応します。
- 保健所等の濃厚接触者に関する調査への協力のため、衛生管理担当者は、接触した可能性のある踊り手をできる限り調べ、リストを作成します。
リストアップの対象は、感染した踊り手が所属する連の踊り手と、発症日から2日前以降に当該踊り手と濃厚接触（1m以内の距離でマスク等の感染予防策が無く、15分以上接触があった場合）した人となります。
- 衛生管理担当者は、個人情報取り扱いに留意しながら、踊り手に感染者が発生した旨を共有します。

——▶ : 感染疑い時・発生時に連絡



(3) 観客、記者・カメラマン（報道機関）

① 感染疑い時の対応

- 衛生管理担当者は状況の詳細を把握し、主催者（徳島市）に報告します。
- 次の条件に該当する観客があった場合、そのまま観覧を継続するのはリスクがあるため、別室等で待機していただき保健所または帰国者・濃厚接触者相談センター等に連絡します。

- ・ 発熱がある場合（目安は平熱+ 1℃以上。個人により平熱が異なるため37.0℃未満でも発熱にあたる場合がある。）
- ・ 咳、のどの痛みなど風邪症状がみられる場合
- ・ 味覚や嗅覚に異常（味がわからない等）、強いけん怠感など、新型コロナウイルス感染症の特徴 となる症状がみられる場合
- ・ 新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」において、感染者との接触が通知された場合

- あわせて速やかに衛生管理担当者へ「感染疑い・感染発生時報告書フォーマット」にて報告し、対応について協議します。

② 感染発生時の対応

- 保健所等から、本イベントに参加した観客又は記者・カメラマンが感染していたと連絡があった場合は、保健所等の指示に従って対応します。
- 保健所等の濃厚接触者に関する調査への協力のため、衛生管理担当者は、感染した観客又は記者・カメラマンと接触した可能性のある者をできる限り調べ、リストを作成します。
- リストアップの対象は、感染した観客又は記者・カメラマンが利用した座席と前後左右で隣り合う座席の者と、当該観客と同じグループで訪れた観客及び当該記者・カメラマンと同じ報道機関のスタッフとします。
- 衛生管理担当者は、個人情報の取扱いに留意しながら、感染した旅行者又は記者・カメラマンが参加していた旨を共有します。

■ 感染疑い・感染発生時報告書フォーマット

感染疑い・感染発生時報告書フォーマット

NO	記入事項	記入内容	備考
1	報告日時 ※追加報告時には【●時報告】と追記		
2	事業名		
3	事業者		
4	担当者		
5	担当者連絡先		
6	発生場所 (施設、市町村含め)		
7	発生までの経緯 (いつ感染がわかったのか等)		
8	該当者の分類 (例：旅行者、スタッフ等)		
9	現在の対応状況 (例：保健所連絡後、病院へ搬送済。ホテル待機指示。イベント一時休止、消毒中 等)		
10	今後の対応予定		

1 1. 実施マニュアル運用状況のチェック

各事業者における実施マニュアル運用状況のチェック

- 観客を除くすべての参加事業者に、実施マニュアルの遵守状況を確認するため、巻末資料「実施マニュアル運用チェックリスト（週次）」によりマニュアルの運用状況について把握してもらう。
- 各連の代表者は、連員からの健康管理アプリ「OND' U」による報告を受け、連全体の体調管理の把握に努める。（日次）

1 2. グループ健康管理アプリ「OND' U」の利用

グループ健康管理アプリ（パナソニック「OND' U」）により、事業者単位、阿波おどり連単位で体調管理を行います。このアプリは、あくまでも、日々の健康状態を管理するためのツールであり、参加するにあたっての遵守事項は本マニュアルに沿って感染症対策に努めてください。

「OND' U」アプリにて管理・チェックできる項目

- ・体温
- ・症状の有無（具体的な症状）
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」による通知の有無
- ・メッセージ

※ 本アプリを利用しない場合は、巻末資料にある「健康管理チェックリスト（日次）」の内容を確認し、代表者が全体の体調管理を行ってください。

1 3. 巻末資料

健康管理チェックリスト【運営スタッフ・日次】
健康管理チェックリスト【踊り手・日次】
実施マニュアル運用チェックリスト【運営スタッフ・週次】
実施マニュアル運用チェックリスト【事業者・週次】
実施マニュアル運用チェックリスト【踊り手・週次】
実施マニュアル運用チェックリスト【踊り連・週次】
実施マニュアル運用チェックリスト【事業者・当日】
実施マニュアル運用チェックリスト【踊り連・当日】

健康管理チェックリスト【運営スタッフ・日次】

年月	令和 3 年 月
事業者名	
所属部署	
氏名	

NO	チェック項目	チェック内容	/	/	/	/	/	/	/
1	発熱	発熱はない	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
2	風邪症状	咳、のどの痛みなど風邪症状はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3	味覚・嗅覚	味覚や嗅覚に異常(味がわからない等)はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
4	けん怠感	強いけん怠感はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
5	COCOA	COCOAにより感染者との接触が通知されていない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし

NO	チェック項目	チェック内容	/	/	/	/	/	/	/
1	発熱	発熱はない	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
2	風邪症状	咳、のどの痛みなど風邪症状はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3	味覚・嗅覚	味覚や嗅覚に異常(味がわからない等)はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
4	けん怠感	強いけん怠感はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
5	COCOA	COCOAにより感染者との接触が通知されていない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし

NO	チェック項目	チェック内容	/	/	/	/	/	/	/
1	発熱	発熱はない	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
2	風邪症状	咳、のどの痛みなど風邪症状はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3	味覚・嗅覚	味覚や嗅覚に異常(味がわからない等)はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
4	けん怠感	強いけん怠感はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
5	COCOA	COCOAにより感染者との接触が通知されていない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし

NO	チェック項目	チェック内容	/	/	/	/	/	/	/
1	発熱	発熱はない	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
2	風邪症状	咳、のどの痛みなど風邪症状はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3	味覚・嗅覚	味覚や嗅覚に異常(味がわからない等)はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
4	けん怠感	強いけん怠感はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
5	COCOA	COCOAにより感染者との接触が通知されていない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし

NO	チェック項目	チェック内容	/	/	/
1	発熱	発熱はない	℃	℃	℃
2	風邪症状	咳、のどの痛みなど風邪症状はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3	味覚・嗅覚	味覚や嗅覚に異常(味がわからない等)はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし
4	けん怠感	強いけん怠感はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし
5	COCOA	COCOAにより感染者との接触が通知されていない	あり・なし	あり・なし	あり・なし

確認者	衛生管理担当者
氏名	
確認日	

健康管理チェックリスト【踊り手・日次】

年月	令和 3 年 月
所属協会名	
連名	
氏名	

NO	チェック項目	チェック内容	/	/	/	/	/	/	/
1	発熱	発熱はない	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
2	風邪症状	咳、のどの痛みなど風邪症状はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3	味覚・嗅覚	味覚や嗅覚に異常(味がわからない等)はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
4	けん怠感	強いけん怠感はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
5	COCOA	COCOAにより感染者との接触が通知されていない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし

NO	チェック項目	チェック内容	/	/	/	/	/	/	/
1	発熱	発熱はない	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
2	風邪症状	咳、のどの痛みなど風邪症状はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3	味覚・嗅覚	味覚や嗅覚に異常(味がわからない等)はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
4	けん怠感	強いけん怠感はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
5	COCOA	COCOAにより感染者との接触が通知されていない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし

NO	チェック項目	チェック内容	/	/	/	/	/	/	/
1	発熱	発熱はない	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
2	風邪症状	咳、のどの痛みなど風邪症状はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3	味覚・嗅覚	味覚や嗅覚に異常(味がわからない等)はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
4	けん怠感	強いけん怠感はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
5	COCOA	COCOAにより感染者との接触が通知されていない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし

NO	チェック項目	チェック内容	/	/	/	/	/	/	/
1	発熱	発熱はない	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
2	風邪症状	咳、のどの痛みなど風邪症状はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3	味覚・嗅覚	味覚や嗅覚に異常(味がわからない等)はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
4	けん怠感	強いけん怠感はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし
5	COCOA	COCOAにより感染者との接触が通知されていない	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし	あり・なし

NO	チェック項目	チェック内容	/	/	/
1	発熱	発熱はない	℃	℃	℃
2	風邪症状	咳、のどの痛みなど風邪症状はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし
3	味覚・嗅覚	味覚や嗅覚に異常(味がわからない等)はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし
4	けん怠感	強いけん怠感はない	あり・なし	あり・なし	あり・なし
5	COCOA	COCOAにより感染者との接触が通知されていない	あり・なし	あり・なし	あり・なし

確認者	衛生管理担当者
氏名	
確認日	

実施マニュアル運用チェックリスト【運営スタッフ・週次】

NO	場面	チェック内容	
1	通勤時	車内ではマスクを着用して会話を控えるとともに、執務室に入る際に手洗い又は手指消毒を行っているか。	はい・いいえ
2	執務時間中	執務時間中はマスクを着用し、飛沫感染を防止するとともに、接客後は手指のアルコール消毒を行っているか。	はい・いいえ
3		体調不良の場合は早めに休暇を取得しているか。	はい・いいえ
5		共有備品は定期的に清掃・消毒を行っているか。	はい・いいえ
6	打ち合わせ時	打ち合わせの際は参加者に手指消毒、検温、マスク着用の徹底を依頼しているか。	はい・いいえ
7		対面の必要がない場合はオンラインも活用して打ち合わせを行っているか。	はい・いいえ
8		座席の間隔を空けるか、難しい場合は打ち合わせテーブルにパーテーションを設置するなど飛沫防止対策を行っているか。	はい・いいえ
9		打ち合わせ後は使用したテーブルなどをふき取り消毒するとともに、手洗い又は手指消毒を行っているか。	はい・いいえ
10	昼食・休憩時	食事前に手洗い又は手指消毒を行い、休憩時もスタッフ同士の距離を1m以上空けているか。	はい・いいえ
11		飲食している時以外は休憩中もマスクをし、飲食中は黙食・黙飲を徹底しているか。	はい・いいえ
12		複数名で食事をとる場合は対面ではなく、横並びで座るようにしているか。	はい・いいえ
13		休憩室の窓を常に2方向10cm程度開けて、外気が入るようにしているか。	はい・いいえ
14		その他の日常生活においても、人が密集する場所でのマスク着用と帰宅後の手洗いを徹底しているか。	はい・いいえ
15	その他の日常生活	休日に旅行に出かける際は、訪れる店舗等の感染症対策の状況に応じて適宜自主的な対策を取っているか。	はい・いいえ
16		現金での支払いをできるだけ避け、カードや電子決済を活用するほか、店舗を出る時や帰宅時には手洗いを徹底しているか。	はい・いいえ
17		スタッフから家族に対して感染症対策を説明し、スタッフと同程度の対策の協力を依頼しているか。	はい・いいえ
18		家族が感染または感染を疑わせる症状がある場合は、出勤をせず自宅で待機または在宅で勤務しているか。	はい・いいえ
19		家族も含め、スマートフォンに接触確認アプリCOCOAをダウンロードしているか。	はい・いいえ

実施マニュアル運用チェックリスト【踊り手・週次】

NO	場面	チェック内容	
1	練習前	練習参加時は手指消毒、検温、マスク着用を徹底しているか。	はい・いいえ
2		発熱症状や倦怠感があるなど、体調がすぐれない場合は練習への参加を見送っているか。	はい・いいえ
3		更衣室やトイレなど不特定多数の者が使用する場所は消毒してから使用しているか。	はい・いいえ
4		自分で出したゴミや飲み切れなかった飲料物などはゴミ箱に廃棄せず、自ら持ち帰っているか。	はい・いいえ
5		練習参加者が使用する場所や床は練習前に清掃・消毒を行ってから使用しているか。	はい・いいえ
6		適切な身体的距離を保てるよう、特に屋内については十分な広さの練習会場を使用しているか。	はい・いいえ
7		練習前には窓を全開にし、十分換気を行った上で練習を開始しているか。	はい・いいえ
8	練習中	踊り手と踊り手の間隔を可能な限り各自2m(最低1m)開けて練習しているか。	はい・いいえ
9		かけ声はできる限り控えることとし、出す場合は踊り手同士が対面とにならないようにしているか。	はい・いいえ
10		一定時間で練習を区切り、練習の合間に窓を開けて換気を行うとともに、床面などの清掃を行っているか。	はい・いいえ
11		練習中も可能な場合はマスクを着用しているか。	はい・いいえ
12		指導者は常時マスクを着用し、指導時やミーティング時にはマイクを利用するなど、近距離での発声を抑制しているか。	はい・いいえ
13	練習後	会場の床面や共用スペース(トイレなど)の清掃を行った上で退出しているか。	はい・いいえ
14		練習後も参加者全員がマスクの着用を徹底し、ミーティングは密を避けて短時間で終わらせているか。	はい・いいえ

実施マニュアル運用チェックリスト【踊り連・週次】

NO	場面	チェック内容	
1	練習前	練習への参加者全員に手指消毒、検温、マスク着用を徹底させているか。	はい・いいえ
2		発熱症状や倦怠感があるなど、体調がすぐれない場合は練習への参加を見送るよう指導しているか。	はい・いいえ
3		更衣室やトイレなど不特定多数の者が使用する場所は消毒をしてから使用しているか。	はい・いいえ
4		自分で出したゴミや飲み切れなかった飲料物などはゴミ箱に廃棄せず、自ら持ち帰っているか。	はい・いいえ
5		練習参加者が使用する場所や床は練習前に清掃・消毒を行ってから使用しているか。	はい・いいえ
6		適切な身体的距離を保てるよう、特に屋内については十分な広さの練習会場を使用しているか。	はい・いいえ
7		練習前には窓を全開にし、十分換気を行った上で練習を開始しているか。	はい・いいえ
8	練習中	踊り手と踊り手の間隔を可能な限り各自2m(最低1m)開けて練習しているか。	はい・いいえ
9		かけ声はできる限り控えることとし、出す場合は踊り手同士が対面とらないようにしているか。	はい・いいえ
10		一定時間で練習を区切り、練習の合間に窓を開けて換気を行うとともに、床面などの清掃を行っているか。	はい・いいえ
11		練習中も可能な者はマスクを着用しているか。	はい・いいえ
12	指導者は常時マスクを着用し、指導時やミーティング時にはマイクを利用するなど、近距離での発声を抑制しているか。	はい・いいえ	
13	練習後	会場の床面や共用スペース(トイレなど)の清掃を行った上で退出しているか。	はい・いいえ
14		練習後も参加者全員がマスクの着用を徹底し、ミーティングは密を避けて短時間で終わらせているか。	はい・いいえ